

2019年総合生活改善の取り組みについての談話

1. 自動車総連全体の取り組み経過について

- 我々自動車総連は、1月10日(木)第86回中央委員会において、今次取り組みを通じ、「働く者の将来不安の払拭と日本経済の自律的成長」の実現、「生産性運動三原則の実践と社会全体への波及」、及び「自動車総連における働き方を含めた全体の底上げ・格差是正の更なる前進」の3点を実現すべく、自動車総連一体となって取り組むことを確認した。
- とりわけ「賃金」の取り組みについては、中小単組の地力向上、底上げ・格差是正に繋げるべく、「絶対額を重視した取り組み」をこれまで以上に進めるとし、多くの単組が、上げ幅だけではなく、自らが目指す賃金の絶対水準やポジション、賃金カーブや配分のあり方といった賃金課題を基に要求根拠を具体的に積み上げ、結果として、周りや大手の数字に囚われない、幅の広がった全体の要求結果となった。深刻な人手不足を背景に、「目指す賃金・目指す働き方を実現する」「底上げ・格差是正を何としても進める」とした、中小を始めとする各単組の「人への投資」を求める強い意思が全体に表れたものと受け止める。
- 2月13日(水)の統一要求提出日以降、先行的に交渉を進める主要単組における労使の話し合いにおいて、深刻な人手不足の中、厳しい競争環境を乗り越えていくための「人への投資」、及び、職場風土や働く環境、仕事の進め方等、広く「働き方」に係る取り組みの必要性については、労使共通の理解が相当程度深まった。しかしながら、賃金要求に対し、経営側は、中長期の競争力への影響や組合員の意識・覚悟、最適な「人への投資」のあり方をギリギリまで見極めるべく、厳しい姿勢を最後まで崩さず、また、年間一時金要求に対しても、第4四半期の収益環境の悪化やグループ会社との水準の乖離等を要因に、強い懸念を示し続けた。
- こうした厳しい状況を打ち破るべく、集中回答日を目前に控えた3月9日(土)、第3回中央生活闘争委員会において、全ての単組にとって「最大限の回答」の引き出しに繋げていくべく、
- ・全ての単組は、「自らの要求根拠に照らし合わせ、その要求根拠を十分に満たし得る」かつ「労連全体の要求に表れた強い意思の具現化に繋がる」最大の回答を引き出すべく、最後まで交渉を追い上げる。
 - ・各労連及び自動車総連本部は、「目指す賃金・目指す働き方を実現する」「底上げ・格差是正を何としても進める」とした、中小を始めとする各単組の「人への投資」を求める強い意思を形にすべく、具体的な戦術・サポートの展開、回答引き出し状況の速やかな収集・分析・共有等を行う。
- ことを、賃金における「回答引き出しに向けた基本態度」とし、自動車産業労使の果たすべき責任・期待と影響の大きさを強く認識した上で、自動車総連一体となって最終盤の交渉を追い上げていくことを確認した。

2. 主要 12 単組の回答状況について

○本日午後 2 時 30 分現在、主要 12 単組の内、10 単組で正式に回答を確認した。

<賃金・年間一時金>

○年明け以降、交渉環境が日増しに悪化する中、賃金については 2 単組、年間一時金については 8 単組、それぞれ満額の回答を引き出したことを始め、いずれの単組も自らが積み上げた要求根拠の正当性と、この深刻な人手不足と産業の大転換期を乗り越えていく組合員の決意をもって、回答指定日ギリギリまで交渉を押し込んだ結果、各単組にとって「最大限の回答」を引き出すことができたものと受け止める。

○また、中期的に目指す賃金の絶対水準を労使で共有し毎年底上げすることを確認した単組や、賃金課題の解決に向けて今後労使委員会を設置し継続的に話し合うことを確認した単組もある等、自らが目指す賃金水準・賃金制度の実現に向け、今後の足がかりを作ることができたことも大きな前進と評価する。

<働き方の改善>

○職場全体の生産性向上、恒常的な長時間労働の是正、及び多様な働き方の促進等、それぞれの労使の実態に即した深い話し合いが行われ、今後の具体的な取り組みにも確実に繋がっている。深刻な人手不足と産業の大転換期を乗り越えていくためには、それぞれの個別企業労使及び産業全体の「働き方の改善」は待ったなしであり、労働諸条件改善や通年の取り組みを通じ、加速させていく。

<非正規労働者に関する取り組み>

○現在までに回答を引き出している全ての単組で、時給や日給の有額での回答引き出し、あるいは一般組合員の水準と同等またはそれ以上の賃金・一時金の獲得等、価値ある結果を引き出している。労働組合の社会的役割を十二分に果たし得たものと受け止めると同時に、同一価値労働同一賃金や 60 歳以降の働き方に係る今後の取り組みが自動車総連台で一層進むことを期待している。

3. 今後の進め方について

○2019 年総合生活改善の取り組みは、今後、中堅・中小単組を中心に、車体・部品部門、販売部門、輸送部門、一般部門がヤマ場を迎えることになる。

○自動車総連が目指す「全体の底上げ・格差是正の更なる前進」に向けては、これから本格的に回答引き出しを迎える中堅・中小単組の取り組みこそが肝である。先行して交渉を進めた主要単組の「最大限の回答」引き出し結果とその思いを確固たる土台として、「目指す賃金・目指す働き方を実現する」「底上げ・格差是正を何としても進める」とした、中小を始めとする自動車総連全体の強い意思を形にすべく、全ての単組、全ての労連、自動車総連本部が一体となって、本日以降の取り組みを全力で前に進めていく。

○解決日程について、全ての単組は、各労連が策定した戦術のもと、3 月 13 日（水）から 3 月 22 日（金）の間で集中的に「最大限の回答」を引き出すとともに、自動車総連全体では、3 月末決着を目指し取り組み、遅くとも 4 月末までには全ての単組での決着を図る。